

20 発字建第 208 号

平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 殿

宇多津町長 谷川



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号において依頼のありました標題の件について

別添のとおり回答いたしますので、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ①地方においては公共交通も少なく、車に依存せざるを得ない時代であります。一家に3台4台と所有しているのも珍しくありません。
そうした中、道路整備は不可欠なものとなっています。
しかし、当町のような狭小な町が道路整備を行うには、今の国庫補助要件においては町単独費又は県費補助に頼るしかありません。
地域には地域の事情又は条件があり、補助要件等も地域に根ざした補助を創設して貰いたい。
- ②今後の道路行政においては、新設道路だけでなく橋梁の修理等を始め維持工事が大きな割合を占める時代であり、「地方道路整備
臨時交付金等」の拡充をお願いしたい。
- ③地方の末端市町においては、国で制定された各種補助事業等の情報が把握出来ない。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状	○課題
①地方の財政難により、地元負担金の捻出が難しく、補助事業を申請したくとも地元負担金の予算が組めない。 ②本町内における国道(11号線)と接続している道路は2箇所あるが特に東側については「瀬戸大橋道」(高速道)のインターチェンジから出てすぐであり、国道から臨海部に向かって入る右折車の滞留長が短く交差点が詰まって渋滞を起す。 西側の接続交差点についても直接臨海部(浜街道)に抜ける道路で、右折車が多く渋滞を起す。	①国の補助率及び補助対象要件の問題 ②国道11号線の4車線を6車線に増幅してはどうか。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

①今後の行政においても「民活」(PFI等)を活用し、公共としても必要な道路であり、なお、民間としても早急に道路が必要な場合等に民間資金を活用し道路整備等を短期間に行う。

そして、行政としては国等の補助を受けて分割して返済出来るような補助制度を是非検討してほしい。